

令和2(2020)年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	細胞外足場タンパク質によるシナプス・非シナプス機能制御機構の解明
研究代表者	柚崎 通介（慶應義塾大学・医学部（信濃町）・教授）
研究期間	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>【課題の概要】 応募者が発見し概念として確立した細胞外足場タンパク質について、シナプス及び非シナプスにおけるそのシグナル伝達機構を解明し、さらに、人工コネクターを開発して神経回路の制御を目指そうとする意欲的な研究提案である。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】 本研究は、応募者がこれまでに積み上げてきた細胞外足場タンパク質研究の成果に裏打ちされた計画であり、シナプス及び非シナプス接着構造の形成・機能のメカニズムが明らかにされると考えられる。さらに、人工コネクターの開発と応用によって、脳の動作原理や精神神経疾患の病態の解明が大きく進むことが期待される。</p>